

第1回都市交通・市街地整備小委員会 議事の概要

(事務局作成)

以下の内容について資料説明後、討議。

- 1 経済社会情勢の転機
- 2 都市構造改革の必要性和効果
- 3 都市交通・都市交通施設の現状と課題
- 4 市街地の現状と課題

討議の概要は、以下のとおり。

**【都市構造改革を実現するための都市交通施策や都市整備の方向性について】**

(1) 都市交通施策や市街地整備の目標の転換

大都市、地方都市の別や、道路や市街地を新たに作るかあるものを有効利用するかの別で違う。車を止め、歩く人を優先するまちや、逆に、車で楽しめる町があってよい。

駅勢圏の快適な再構築がコンパクトな都市づくりの一部を構成しているので、そういった方向性をしっかり打ち出すべき。

(2) 役割分担の明確化

地方が、自分たちの知恵で行うまちづくりを支援するべき。

地方が自発的にやることを制度も支援するということ。『地方も良く考えなさい』という場合、地方は、知恵、ツール、手段を持たないので、戦略的に担保することが必要。

役割分担、大きな流れはあるが、費用負担が裏腹であり、議論が必要。公共側は財政的に苦しい。フィージビリティ - をどう高めるかの制度作りが必要。

契約、リスク分担等、明示的に考えねばならない。ベストプラクティス事例の収集等を。

新潟のバス存続等の成功事例について、成功の秘訣等の分析を行い、それをモデルに、指針、協定をセットに道具をそろえると良い。

交通結節点としてのランキングで、駅勢圏の取り方、快適性のあり方等のパターンを整理すれば官民の役割の整理にも有効。

**【公共交通への新たな取組について】**

(1) 導入目的

公共交通は誰が使うのか、誰が本当に必要としているかということから発想することが必要。

まちのユニバーサルデザインが求められており、公共交通機関が必要。

(2) 役割分担

公共交通は、「計画」、「運営」、「道路空間に納める」の各段階で、それぞれ

れ問題点等が少しずつ違うので、何処で、誰がということに分けて検討することが必要。

交通は自治体だけが引っ張ってもうまくいかない。『市民的経営』を考えることが必要。自治体中心に進める施策に、経営がうまくいくよう市民が協力する『運動論』がないとうまくいかない。

公共交通とまちが互いに支え合い、公共交通が成立するための、ハード・ソフトの工夫が重要。交通企業と自治体だけでは解決出来ないので、サードパーティーを入れることが必要。

### (3) 国の支援

公共が軌道を作る公設民営方式でLRT導入にあたっては、行政の負担、取り組みが欠かせない。また、車利用を抑制すること、LRT整備費用を市が支出することについての市民理解を得ることが必要。こうした取組は、国の制度に位置付けをしてもらえると前に進めやすい。

### (4) 利用の促進等

田園都市線沿線では、通勤には公共交通が使われているが、平日の日中、休日は車利用が高い。ポートランド、サクラメント等の公共交通指向型開発の導入も検討することが必要。

ソフトは、ファイナンス、地域カード、ICチップ等の新たな技術もありそう。

住んでいる人の属性・タイプ毎に人間心理等分析し、公共交通に乗ってくれるかどうか検証することが必要。

岡山では路面電車への「モモ」の導入により、人の交通行動が変わった。公共交通機関の質が重要。

利用者は、交通結節点で駅前広場の一回り位外側に不満を持っているので、そこまで巻き込んだ議論が必要。

都市鉄道利便増進法等、都市側との連携が費用負担を含めて必要なので、踏み込んで欲しい。

## [ 都市構造改革を実現するための市街地整備の進め方について ]

### (1) 市街地整備の方向性について

中心部は空家と駐車場がゴマシオ状態。地価下落率も高い。道路がある中で、ミニ区画整理により土地が集約できる仕組みがあると良い。

市街地を『上手にたたむ仕組み』も必要。

密集市街地では、防災（市街地環境整備）も必要だが、地域の魅力を活かしつつ防災性を高めることも考えないと説得できない。

車社会前に完成した戦災復興市街地は、車社会にフィットしていない。取り扱いの検討が必要。

### (2) 民間による主体的な取組への支援方策

密集度が低いと費用がかかるので、都会を体験できる制度を作っては。（郊外の家を担保に都心に住み、都心生活の経験。経験すれば都心へ住むようになる。）

集約的都市構造を考えると、中心市街地の居住の質（居住空間と市街地の双方の質）が必要。

民は重要だが、地方の金融機関中心に、市民的経営が取れないか。地域の財をリスクをできるだけ少なくし、都市居住等を進める市街地整備施策を。特定財源債を出して、プロジェクトの実力に応じてキャップをはめることにより、肥大化が防止される。また、プロジェクトに魅力があれば金が集まる。

日本では通常の起債だが、一般債の方が有利。このリンクを断ち切らないとTIFは出てこない。ミニ公募債は、一般に公債より有利な金利で発行出来る。（タンス預金からきているものも多）。日本の資産の7割は高い利回りを求めるが、3割は違う。1400兆円有り、金はある。

官から民への流れの中で、どう位置付けるか。いい町に住みたい。外部不経済効果（周りにマンション、パチンコ）は、投資したものにマイナス。誘導より規制を行うべき。官はビジョンを示し、規制し守らなければペナルティーを設けるべき。リスクが大きいと金は入ってこない。

密集市街地をどこまでやるか。都市再生機構が出てこないと出来ないのではないか。